

公開質問状

2012年8月29日

名古屋市長 河村たかし 様

相生山の自然を守る会
代表 近藤 国夫
名古屋市天白区天白町野並相生 28-341
<http://www.aioiyama.org/>
E-mail : aioiyama_92@mail.goo.ne.jp
TEL:090-6337-1095

<道路建設工事を中断から中止へ！>

8月3日に行われた「市長との話し合い」（第36回「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」）の席で、市長が「施工ワーキングのススメ」を知らなかったことが判りました。また、市長の指示で発足した学術検証委員会を「ゼロからの出発」として位置づけていたと明言しました。

これを受けて、「相生山の自然を守る会」は、市長に「相生山緑地を横切る道路建設工事―市道弥富相生山線」について下記の質問をいたします。9月12日までに回答下さるよう市長にお願い致します。

<市長が知らなかった「施工ワーキングのススメ」>

市長はびっくり―道路工事は止まったはずなのに

「相生山の自然を守る会」が「現在、道路建設は中断しているが、『施工ワーキングのススメ』では建設再開を前提としたような調査などをやって、それを全戸配布しているが、おかしいのではないか」と質問した途端、市長は「知らなんだ。それを持っているか？」と言うので、その場で手渡しました。

専門家会と検証委員会

「環境に配慮した道づくり専門家会」は道路をつくるための会であり、「学術検証委員会」は建設の是非としてはゼロからの出発だった。すごい専門家ばかり集まって検証したが、それでも分らないということは説得力のないことだ」と発言しました。

「環境に配慮した道づくり」施工ワーキングはその名のとおり、「道をつくる」ことを目的として、「環境に配慮した道づくり専門家会」の提言のもとに作られ、参加者は専門家（「環境に配慮した道づくり専門家会」のメンバー）、名古屋市、施工者そして、目的に賛同する市民です。道路建設事業が中断している現在も「環境に配慮した道づくり施工ワーキング」は継続して行われていて、「施工ワーキングのススメ」という広報誌を3学区に全戸配布され、また名古屋市のHPで公開されています。第57・58号によると「検証委員会」が経費・時間等の問題で出来なかったことを「施工ワーキング」が課題として行っているとのことです。

質問 1.

「施工ワーキング」は、「検証委員会の『提言』をうけて」（第 58 号）活動としていますが、どこの委託で行なっているのでしょうか？

質問 2.

直ちに『環境に配慮した道づくり』施工ワーキングの活動をやめるべきであると思いますが、どのようにお考えですか？

質問 3

そして『環境に配慮した道づくり』施工ワーキングのススメ」の発行・配布をやめるべきであると思いますが、どのようにお考えですか？

< 「抜け道のところを解決したら、道路は本当にいるのかどうか？」 >

市長が語る住民の声

「現地には 3 回行ったかな？ 1 回は連絡して行ったが、2 回は連絡しないで行った。住んどの人にガラッと戸を開けて聞いてきた。結構、抜け道交通になっているので気の毒なんだが、『そこをキチっとしてくれれば、自然を守ってほしい』と住民が言っていた。」

市長の抜け道に対する見解

「新出来町から旭丘高校の抜け道通行は、徳川橋西向き一方通行で一発で止まった。ドーム野球場で混むときもあるし、一方通行は時間がかかるけど、文句を言う人はいない。そのぐらい辛抱して当たり前だ。抜け道のところを解決したら、道路は本当にいるのかどうか？ 旭丘の抜け道は一発で直った。一方通行はやりにくいと言った人もいるが、回っていかなきゃならんが、だからと言って、このぐらいは辛抱せにゃあ。天白の警察署長に電話して、抜け道解決の方法を提案してと、提案してある。役所は役所で考えとる、ということで、今、提案を待つところだ。地元とも規制については話しあってやっていきたい」

質問 4.

市長が提案している「抜け道解決の提案」はどうなっていますか？

質問 5.

市長が言う「役所の考え」は、具体的に提案されているのでしょうか？

<交通量調査にみる「渋滞の解消」>

交通量調査報告書・愛知国道HPより

- ①野並・島田交差点の渋滞はほぼ解消した。
- ②渋滞時間は野並で9割減った。
- ③「抜け道交通量調査」；現在の7時-9時の一方通行規制を無視する車は150台程度

名古屋市道路建設課が依頼した交通量調査（H23・H24）の報告書及び愛知国道のHPによると、名古屋市が道路建設の目的とした「渋滞の解消」は既に解決しております。市東南部に不足していた南北路（国道302号）が開通したため野並の渋滞時間が90%減少し、「生活道路の車が減った」との地域の声があります。

入り込み防止は、現在の7時-9時の一方通行規制を徹底することにより70%以上減らせます。現在、規制を無視する車は150台程度であり、この150台のために名古屋市は市民の貴重な自然を壊すこととなります。

質問6.

交通量調査の結果をみても道路建設は不必要であると考えます。市長のお考えをお聞かせ下さい。

以上